

◆ 2016年第48週(11/28~12/4)の感染症発生動向(届出数)

インフルエンザが流行しています!

■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核 (高松 1件、小豆 1件)
- 3類感染症 なし
- 4類感染症 レジオネラ症 (中讃 2件)
- 5類感染症 アメーバ赤痢 (高松 1件)

感染性胃腸炎が流行しています。
調理時や食事の前、トイレの後は石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。
調理をする際は十分に加熱しましょう。

■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

- 感染性胃腸炎(ウイルス、細菌)に気をつけましょう。
調理や食事の前、トイレの後には石けんと流水でこまめな手洗いをこころがけましょう。
- 県内全域でインフルエンザの報告が増加しています。早めに予防接種を受けましょう。



2016年第48週の感染症発生動向調査による報告患者総数は907人で、前週(621人)の146.1%となった。

1. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(12.2→16.4)で増加し、全ての地区で前週より増加している。西讃地区(23.3→28.8)に加え、中讃地区(17.4→23.6)も警報レベル(20.0)に達している。
2. インフルエンザの報告は、県全体(1.8→3.7)で増加している。特に中讃地区(2.3→6.0)で増加している。高松地区(0.3→1.1)と小豆地区(0.0→1.5)も流行の基準である1.0を超えている。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体(2.1→3.1)で増加している。
4. 流行性耳下腺炎の報告は、県全体(0.9→1.6)で増加している。
5. RSウイルス感染症の報告は、県全体(1.5→1.5)で横ばいで推移している。

◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	16.4人	12.2人	134.9%	8.5人	10.9人	○↗	○↗	○↗	○↗	◎↗	◎↗
② インフルエンザ	3.7人	1.8人	205.9%	0.9人	5.7人	○↑	○↑	○↗	△↗	○↑	○↗
③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.1人	2.1人	148.3%	1.5人	0.9人	○↗	○↗	・	△↘	○↗	○↗
④ 流行性耳下腺炎	1.6人	0.9人	169.2%	1.4人	0.5人	○↗	△↘	・	○↗	○↗	○↗
⑤ RSウイルス感染症	1.5人	1.5人	104.9%	1.6人	2.5人	○→	○↘	○↘	△↗	○↗	○↗

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し
前週との比較: ↑急増 ↗増加傾向 ↘減少傾向 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
なし						1	

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
Adenovirus 3	咽頭	2016/11/19	東讃	咽頭結膜熱	遺伝子検査	1	
Adenovirus 40/41	糞便	2016/11/14	高松市	ウイルス性胃腸炎	遺伝子検査	1	
Adenovirus 40/41	糞便	2016/11/16	高松市	ウイルス性胃腸炎	遺伝子検査	1	
Coxsackievirus B2	咽頭	2016/10/12	西讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Respiratory syncytial virus	咽頭	2016/11/20	西讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Rhinovirus	咽頭	2016/11/22	東讃	手足口病	遺伝子検査	1	

